

第 4 回若手が拓く新しい薬剤学：DDS におけるリポソーム研究の最前線
Frontier Pharmaceutics to be Explored by Young Scientists: Frontier study of the liposomes on DDS

宇都口 直樹¹，紙谷 浩之²（¹帝京大学薬学部，²北海道大学大学院薬学研究院）

リポソームの発見から 40 年あまりが経ち，DDS への応用研究がなされ，昨今はアムホテリシン B やドキソルビシンなどを封入したリポソーム製剤が上市され，有効性ととも毒性の軽減を示し，高い売上げを示している．また現在，治験中のリポソーム製剤も多数あり，リポソームテクノロジーは完成されたように見える．

しかし，リポソームは低分子化合物のみならず，遺伝子デリバリーのデバイスとして，またポリエチレングリコール修飾に代表される RES 回避にとどまらず，表面に抗体やリガンド分子などの機能性分子を修飾することによりターゲティング，また膜融合蛋白による細胞送達効率の上昇などリポソームテクノロジーの進歩はとどまる所を知らない．

そこで，本シンポジウムでは DDS においてリポソームを様々な角度から応用，研究されている先生からご講演を頂き，まだまだ秘めたるリポソームの可能性について論議を深めたい．